

社会科部門

総評

今年も、全国から粒揃いの作品が集まりました。入賞を逃したもののなかにも、身近なところから問題を見つけ、自分の力で調査してまとめた好感のもてる作品がたくさんあります。

新しい傾向としては、楽しんで研究をしている作品が目立ってきたことがあげられます。タイトルのつけ方を工夫したり、旅行記をみんな

で楽しめるゲームにまとめたり、広告までついた歴史新聞を作ったりと、生き生きと研究に取り組んでいる子どもたちの姿が目に見えそうです。

今後、自分自身で見つけた問題に楽しんで取り組み、学年らしくまとめた作品を期待します。

日本社会科教育学会

会長賞

今川家の女性と文化

静岡県静岡市立安東中学校
三年 斎藤 満希子

○研究の動機 パート1

静岡市生まれ、住んでいる私たちにとって、浅間神社や、駿府公園は、幼い頃から何かにつけて行くなじみの所です。(中略)

ここは、駿府城があった所。そして駿府城は、

徳川家康の城ということは何となく知っています。今もその当時のみごとな石垣や、堀が立派に残っています。

しかし、それよりもっと前に、250年も続いた今川氏がこの場所に館を構えて住んでいたなんて、なんて、すばらしいことでしょうか。(中略)

立派な今川氏を陰で支えていたのは、きっと立派な母や妻だったにちがいない、と女性である私は勝手に考えました。

そして、それではどんな女性が今川氏を榮えさせたのか知りたいと思うようになりました。

目次

I 序論	1
1. 研究の動機	2
2. 研究の目的	8
3. 疑問 仮説	10
4. 研究の方法	11
(1) 過程	14
(2) 調査方法	
(3) 見学場所 (地図)	
II 本論	16
1. 今川氏の系図(図表)	18
2. 守護以前の今川氏	19
3. 今川家の基礎を築いた香雲院	28
(1)~(5)	
4. 今川家の危機をのりこえた北川殿	46
(1)~(5)	
5. 今川家の全盛期を作った寿桂尼	62
(1)~(6)	
6. 公家達のもたらした	140
(1)~(8) (絵)(系図)	
7. 今川家の文学	147
(1)~(9)	
III 結論	151
1. 予想と比べて	154
2. 疑問の答え	156
3. 時代背景	
4. 考察	159
5. 先生方のお話を聞いて	172
(1)~(5)	
6. わかったこと	180
IV 資料	186
1. 年表	186
2. 守護、守護大名、戦国大名	190
3. 今川氏十代の一瞥表	191
4. お世話になった先生方へ	214
5. 一乗谷朝倉遺跡	216
(1)~(5)	217
6. 武田信玄と駿府	222
7. 参考文献	
V まとめ	
おわりに	

最優秀賞受賞作品

「まさ子」 北条の歴史を語る

神奈川県茅ヶ崎市立浜須賀小学校
六年 守屋 浩然

○はじめに

北条政子が、源頼朝の妻として、鎌倉幕府のはじまりから頼朝の死後、二人の子がそれぞれ將軍となつて執権政治の基礎ができ、その二人の子が死んで、承久の変がおこり……六十九歳で亡くなるまで見つめていた鎌倉幕府の出来事を、新聞形式にまとめてみた。

○鎌倉時代を選んだ理由

僕は、昨年十一月、鎌倉で御集印帳を買った。御朱印を集めるために鎌倉の寺を回ると、お寺のお坊さんやボランティアでそうじをしているおじさんが歴史の話をしてくれた。

その話がよくわからなかったので、今度の夏の自由研究で勉強しようと思った。歴史の本を読んだからお寺を回ると、話がよくわかるようになり、おもしろくなった。

ONE POINT PICTURE

▼ほくのつうがくろ 武山景一(小2)



この作品は、写真と絵地図を使って、自分の通学路を詳しく紹介しています。田畑の様子、道路や店の様子だけでなく、自分で見つけた昆虫や鳥、花などが書き込まれていて、解説を読むと、子どもらしい発見や感動が伝わってきます。

身近な題材を取り上げている点、自分の足を使って調べている点、感動を素直に表現している点は、大いに評価できると思います。ただ、残念なのは、どうしてこの研究をしようと思ったのかという「動機」が欠けていることです。

研究の「動機」は、「まとめ」につながります。そして、学年らしい「まとめ」ができれば、次の研究へのステップにもなります。自分が研究をしようと思ったきっかけを大切に、その気持ちを自分の言葉で表現するようにしてください。

選評

○予想と比べて パート1
私が予想したとおり、立派な女性が、今川家をつかりと支えていました。

戦場に行く人に代わって家を守り、子どもや孫をみごとに教育していました。

系図や歴史書には「女」とだけ記されているなかにも、偉大な女性はたくさんいたと思います。

今川家についての素朴な疑問を、さまざまな資料を駆使して解決しています。研究論文としてまとまっているだけでなく、研究の目的を自分の生き方にまで結びつけている卓越した作品です。

特別賞受賞作品

祖母の闘病生活観察日記

京都府私立光華小学校
四年 泉 康介

○動機 祖母の突然の発病

○知りたかった事 前日まで正常な日常生活を送っていた者が、どうして急に異常をきたしたか。

○調べた事 脳の仕組み・働き、神経の仕組み・働き、祖母の過去の病歴、祖母の毎日の生活と行動・祖母を囲む家族の様子

「祖母の病状」「看護の様子」を的確にとらえ、過去の祖母の病状から、今日までの看護の様子を、「記録、報告文形式」でまとめあげています。現在形、過去形も巧みに書き分けられ、四年生として立派な文といえます。連日、記録している作者の熱意もすばらしいことです。

